

第197期 株主通信

平成28年4月1日 ▶ 平成29年3月31日

ダイトウボウ株式会社

証券コード：3202

株主の皆様へ



代表取締役社長 山内 一裕

株主の皆様には平素より格別のご高配とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。
当社グループの第197期の株主通信ならびに定時株主総会決議ご通知をお届けするにあたりまして、一言ご挨拶申し上げます。

当期のわが国経済は、きわめて緩和的な金融環境と政府による大型経済対策の効果を背景に緩やかな成長が続きました。

こうした中で、当社グループは、中期経営計画「Bridge to the Future ～未来への架け橋～」に基づく経営諸施策に全社一丸で取り組みました。

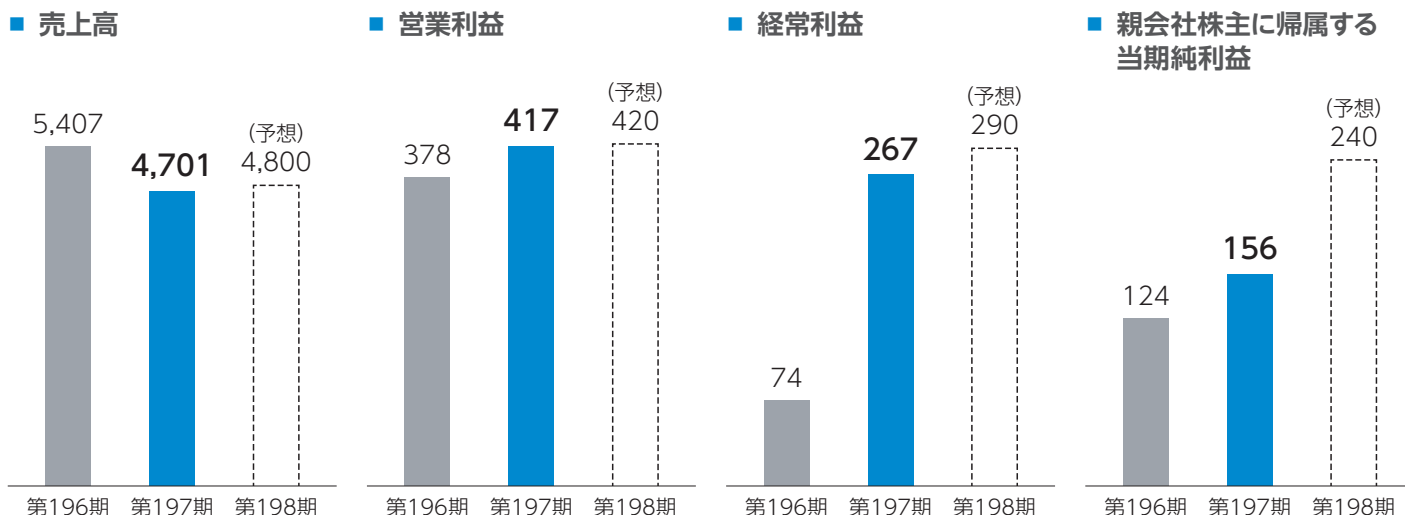
この結果、当期の業績は、売上高につきまして、前期に実施した「繊維・アパレル事業の構造改革」により減収となりましたものの、営業利益以下の各段階におきましては、前期実績および業績予想を上回る増益の決算となりました。

当社グループは、経営理念である「進取の精神」と「自利利他の心」をもとに、さらなる企業価値の向上に懸命に努めてまいり所存でございます。株主の皆様におかれましては、引き続きご支援ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

平成29年6月

決算ハイライト

(単位：百万円)



「発想力を活かし無限大の可能性へ」 daitobo



Q 平成29年3月期の総括についてお聞かせください

A 当期にスタートした中期経営計画「Bridge to the Future ～未来への架け橋～」に基づき、「財務体質の強化」「プロパー事業の強固な基盤作り」「利益の底上げ」を最優先課題として取り組み、概ね計画を上回る業績をあげることが出来ました。また、社名を改めたことをはじめ、本社オフィスの移転、eコマース事業への参入、株主優待制度の導入、シンジケートローンによる長期安定資金の調達、主要事業である商業施設事業とヘルスケア事業のそれぞれにおける重要先との資本業務提携の実施など、120周年の節目にあたり、様々な新しい改革にチャレンジした1年となりました。

Q 平成30年3月期の見通しについてお聞かせください

A わが国経済は引き続き緩やかな回復基調を維持するものと思われま。こうした環境下、当社グループは中期経営計画「Bridge to the Future ～未来への架け橋～」に基づく各事業戦略を進めるとともに、当期にスタートさせたeコマース事業の拡大、資本業務提携に基づく新規事業展開など、新しい分野にも取り組んでいく考えです。

この結果、当社グループの業況は引き続き安定的な黒字基調で推移することを見込んでおり、前期比において増収増益の見通しであります。しかしながら、昨今の事業環境を踏まえ、伸び悩んでいる繊維・アパレル事業とヘルスケア事業の売上高を保守的に見積もることが妥当と判断し、売上高および営業利益以下の各段階で中期経営計画の見通しを修正し公表いたしました。新年度のスタートにあたり、当社グループ一丸となって計画数値を確実に達成すべく全力を傾注していく所存であります。

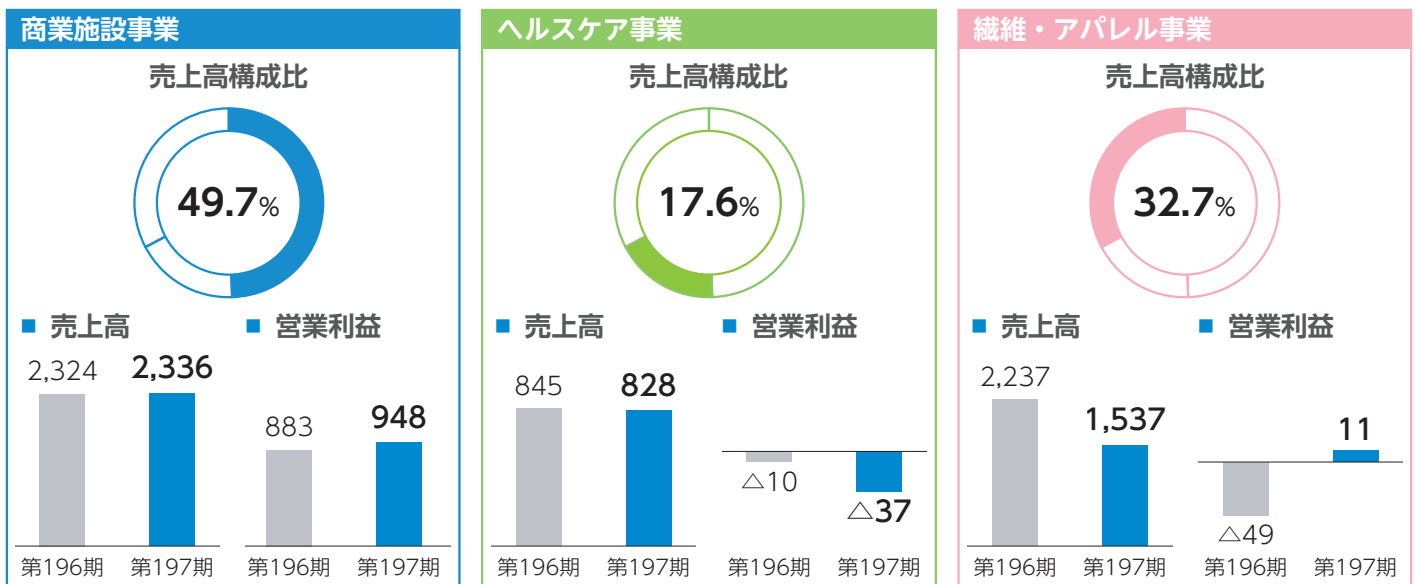
Q 来年度以降についてお聞かせください

A 今年度中に商業施設サントムーン柿田川の追加開発の予備検討を進める考えであり、その進捗を踏まえ次期中期経営計画の柱に出来ればと考えています。今後は、復配も視野に、利益水準をさらに高め、企業価値のなお一層の向上に努めてまいり所存です。ダイトウボウグループは、120年を超える伝統をもとに培われた発想力を活かし、無限大の可能性にチャレンジしてまいりますので、今後ともご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

事業セグメント別の業績について

(単位：百万円)

各事業セグメントにおきましては、グラフのとおりです。



ビジネスフィールド

商業施設事業

心地よい生活文化を提案し続けるダイトウボウの商業施設。「お客様に喜ばれる空間づくり」を基本ビジョンに、豊かな生活空間を提供してまいります。

●ショッピングモール



ヘルスケア事業

高齢化の進展と健康意識の高まりに応じて、当社独自技術の商品を活かして、お客様の健康で快適な生活をサポートします。当社グループの国内生産拠点の高い技術力が強みです。

- 健康関連素材
- 健康食品
- 家庭用医療機器
- 一般寝装品



繊維・アパレル事業

ダイトウボウは「お客様に喜ばれるモノづくり」を基本ビジョンとして、アパレルファッションからユニフォームまで幅広くお客様のニーズに応じてまいります。

- 官・民ユニフォーム
- 生産管理型OEM
- ニット企画



会社概要 / 株式の状況 (平成29年3月31日現在)

会社概要

創 立 明治29年2月27日
 資 本 金 1,500,000,000円
 事 業 所
 本 社 東京都中央区日本橋本町1丁目6番1号(丸柏タマビル)
 ☎ 03 (6262) 6565
 名古屋営業所 愛知県一宮市本町4丁目17番9号(明治産業第2ビル)
 ☎ 0586 (23) 4811
 大阪営業所 大阪市中央区南久宝寺町2丁目3番6号
 ☎ 06 (6262) 8322
 グループ会社 大東紡エステート株式会社(静岡県)
 新潟大東紡株式会社(新潟県)
 上海大東紡織貿易有限公司(中国)

役員 の 状 況

代表取締役社長	山	内	一	裕
代表取締役副社長	野	村	利	泰
取締役執行役員	三	枝	章	吾
社外取締役	澤	田	康	伸
取締役監査等委員	加	久	間	雄
社外取締役監査等委員	飯	沼	春	樹
社外取締役監査等委員	鏡		高	志
社外取締役監査等委員	奥	村	秀	策

(注) 1. 澤田康伸氏、飯沼春樹氏、鏡高志氏および奥村秀策氏は社外取締役(独立役員)であります。
 2. 監査等委員4名をメンバーとする監査等委員会を設置しております。



三枝章吾 澤田康伸 鏡高志 山内一裕 野村利泰 加久間雄二 飯沼春樹 奥村秀策

株式の状況

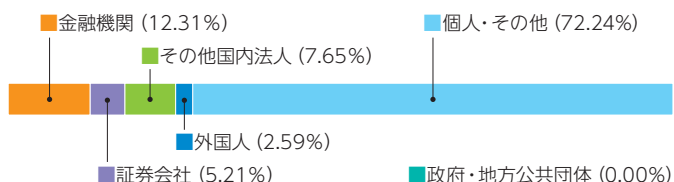
発行可能株式総数 96,000,000株
 発行済株式の総数 30,000,000株
 株主総数 7,011名

●大株主(上位10名)

株主名	所有株式数(千株)	持株比率(%)
三井住友信託銀行株式会社	838	2.79
肥田 篤	570	1.90
楽天証券株式会社	557	1.86
株式会社デベロッパース三信	550	1.83
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	541	1.80
株式会社シード	501	1.67
小泉 芳夫	499	1.66
株式会社SBI証券	403	1.34
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口2)	395	1.31
日本証券金融株式会社	373	1.24

(注) 持株比率は自己株式(67,698株)を控除して計算しております。

●所有者別株式分布(持株比率)



株 主 各 位

東京都中央区日本橋本町1丁目6番1号
ダイトウボウ株式会社
代表取締役社長 山内一裕

定時株主総会決議ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本日開催の当社第197回定時株主総会において下記のとおり報告ならびに決議されましたのでご通知申し上げます。

敬 具

記

報 告 事 項 第197期（平成28年4月1日から平成29年3月31日まで）事業報告、計算書類、連結計算書類ならびに会計監査人および監査等委員会の連結計算書類監査結果報告の件

本件は、上記事業報告、計算書類、連結計算書類の内容ならびに連結計算書類の監査結果を報告いたしました。

決 議 事 項 議案 取締役（監査等委員である取締役を除く）4名選任の件

本件は、原案どおり取締役（監査等委員である取締役を除く）に山内一裕、野村利泰、三枝章吾および澤田康伸の4氏が選任され、それぞれ就任いたしました。

なお、本総会終了後に開催された取締役会の決議により、次のとおり代表取締役が選定され、それぞれ就任いたしました。

代表取締役社長 山内一裕

代表取締役副社長 野村利泰

以 上

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
剰余金配当基準日	期末配当 3月31日 中間配当 9月30日	(電話照会先)	☎ 0120-782-031 (フリーダイヤル)
定時株主総会	毎年6月	公告方法	電子公告により公告 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合の公告方法は、日本経済新聞に掲載して行う。
株主名簿管理人 (特別口座管理機関)	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社		

IRインフォメーション

当社ホームページでは決算短信や有価証券報告書をはじめ、最新の財務情報・適時開示情報等のIR情報を掲載しております。是非ご覧ください。
<http://www.daitobo.co.jp/ir/>



ダイトウボウ株式会社

<http://www.daitobo.co.jp/>

本冊子に関するお問合せ先 経営管理本部 TEL : 03-6262-6565

